

みずほCustomer Desk Report 2024/03/18 号(As of 2024/03/15)

金融市場部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	148.59 AUD/USD
TKY 9:00AM	148.30	1.0883	161.51	1.2746	0.6578
SYD-NY High	149.17	1.0900	162.41	1.2757	0.6581
SYD-NY Low	148.04	1.0874	161.12	1.2726	0.6552
NY 5:00 PM	149.08	1.0888	162.30	1.2732	0.6560

	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	38,714.77	▲ 190.89	日本2年債	0.1800%	▲ 0.0100%
NASDAQ	15,973.17	▲ 155.36	日本10年債	0.7800%	0.0100%
S&P	5,117.09	▲ 33.39	米国2年債	4.7297%	0.0373%
日経平均	38,707.64	▲ 99.74	米国5年債	4.3283%	0.0372%
TOPIX	2,670.80	9.21	米国10年債	4.3073%	0.0160%
シカゴ日経先物	38,690.00	325.00	独10年債	2.4365%	0.0180%
ロンドンFT	7,727.42	▲ 15.73	英10年債	4.0970%	0.0115%
DAX	17,936.65	▲ 5.39	豪10年債	4.1570%	0.0900%
ハンセン指数	16,720.89	▲ 240.77	USDJPY 1M Vol	7.77%	▲ 0.50%
上海総合	3,054.64	16.40	USDJPY 3M Vol	8.25%	▲ 0.29%
NY金	2,161.50	▲ 6.00	USDJPY 6M Vol	8.21%	▲ 0.15%
WTI	81.04	▲ 0.22	USDJPY 1M 25RR	▲ 1.34%	Yen Call Over
CRB指数	284.62	1.68	EURJPY 3M Vol	7.87%	▲ 0.13%
ドルインデックス	103.43	0.07	EURJPY 6M Vol	7.97%	▲ 0.07%

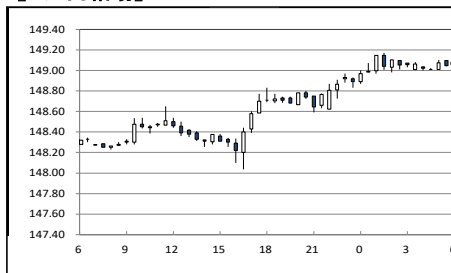
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
3月15日	16:15	日 連合 春闘第1回答集計結果公表	「平均賃上げ率は5.28%」	
	21:30	米 NY連銀製造業景気指数	3月 -20.9	-7.0
	22:15	米 鉱工業生産(前月比)	2月 0.1%	0.0%
	23:00	米 ミシガン大学消費者マインド・速報	3月 76.5	77.1

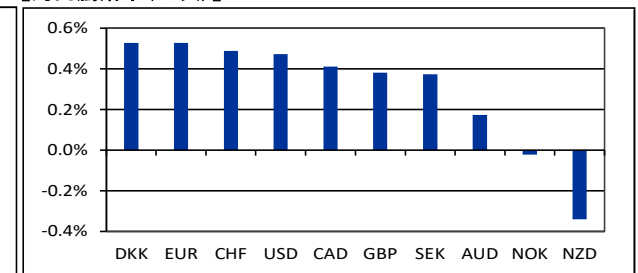
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
3月18日	19:00	欧 CPI(前年比/前月比)・確報	2月 2.6%/0.6%	2.6%/0.6%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	148.00-150.00	1.0850-1.0950	160.60-163.50

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は148.30レベルで東京オープン後、米物価指標の上振れもあり、米金利上昇を横目に底固く推移。その後は春闘の結果を受け、初動はドル安円高で反応したが、流れは続かず一転してドル買い基調となった。NY時間では米2月鉱工業生産が予想を上回り、ドル買いの流れが一層強まった。ドル円は高値圏の149円台前半でクローズ。本日のドル円は今週の中銀イベントを前に方向性に乏しい展開を予想。今週は18(月)、19(火)日銀金融政策決定会合、19(火)、20(水)米FOMCと各国の政策金利決定会合が続く。日銀金融政策決定会合についてはマイナス金利、YCC解除、ETF買入れを止めるとみられている。今回の会合で判断保留となり、4月会合に持ち越した場合は円の売戻しからドル高円安と上振れリスクには警戒したい。

東京	東京時間のドル円は148.30レベルでオープン。前日の米物価指標の上振れを受けた米金利上昇を受けて底堅く推移し、148.65まで上値を拡大。一巡後は春闘の結果や翌週の日銀会合を控えてじりじりと値を下げ、結局、148.30レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、148.30レベルでオープン。ドル円はアジア時間の円買いから反発。一時148.83まで上昇し148.66レベルでNYに渡った。欧州株は小幅ながら堅調だった。
ニューヨーク	海外市場のドル円は148円台前半でスタート。序盤は買いが先行し、148.65まで上昇。その後は148.04まで値を下げる場面もあったが、米金利が上昇する展開を受け反発し、148.66レベルでNYオープン。朝方は米金利が上昇幅を拡大する動きや、米2月鉱工業生産が予想を上回った事を受け、ドル買いの流れが強まる。続いて発表された米3月ミシガン大学消費者マインド指数と1年先の期待インフレ率が予想を下回るも、特段大きな反応は見られず。その後ドル買いの流れが続き、149.17まで上伸。午後は米金利が高水準で推移する展開が支えとなり、高値圏の149円ちょうど付近での値動きが続き、149.08レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは1.08台後半でスタート。じり安での推移が続き、1.0874まで下落する。しかし、その後欧州株高の展開に買い戻しが入り、1.0894レベルでNYオープン。午前中は米金利が上昇する展開が上値を抑え、1.0880近辺を中心とした上値重い展開が続く。午後は週末を控え、積極的な取引が手控えられ、1.0890近くで動意乏しい推移が続き、1.0888レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 范・松木